

【ビジョン】

いつもミテいます

【30年後の理想像】

優秀な人材が各地から集まり、
みんなが心身ともに健康に、
各々のライフスタイルにあった、
生き生きとした働き方ができるまち。

重点政策①概要

健康モニタリング

【政策の目的】

労働者の健康を自治体で管理し、働きすぎによる過労死や感染症の蔓延を防ぐ。

【事業内容】

モニタリングカメラを利用して
①ブラックな労働環境撲滅
②労働者の健康管理を、行う。

【費用】

モニタリングカメラ設置費用、運営人件費

重点政策②概要

安全モニタリング

【政策の目的】

日本の政治・経済の中心として、テロ対策などの安全面を強化する。

【事業内容】

モニタリングカメラを利用してあらかじめ登録した危険人物だけでなく、生体認証システムで検知した未登録の危険人物をも検知し、素早く取り押さえる。

【費用】

左に同様

重点政策③概要

スマイルモニタリング

【政策の目的】

労働者のストレスを軽減し、楽しく元気に働ける労働環境にする。

【事業内容】

モニタリングカメラを利用して労働者のスマイル度を各事業所別に計測して、優秀な事業所を表彰する。

【費用】

左に同様

チーム名
チーム モニタリング

メンバー
岡本、福西、依田

ビジョン

いつもミテいます

30年後の理想のまち

【ビジョンが示す理想の状態】

優秀な人材が各地から集まり、
みんなが心身ともに健康に、
各々のライフスタイルにあった
生き生きとした働き方ができるまち。

【なぜ上の理想を実現したいのか？】

- ・ 千代田区は日本経済の中心で活力の源
- ・ 昼夜間人口が17倍あり、昼間に千代田区に滞在している労働者のことも考えた政策が作られるべきだから
- ・ 千代田区が労働環境に関する新しい手段を編み出すことをできれば日本の労働環境全体が良くなっていくから

現実のまち

【ビジョンと現状のギャップ】

- ・ 子供や高齢者など住民に対して予算が大きく割かれ、昼間千代田区で働く人たちのための予算がほとんどない。
- ・ 働き方が制限されていて、また労働環境が管理されておらず劣悪な環境な事業者や官庁が存在する。

【現状が維持された場合の社会の姿】

- ・ 劣悪な労働環境が維持される
- ・ 優秀な人材が他の地域や、海外へ流出
- ・ 経済的な競争力が低下

重点政策①詳細

政策の概要

【政策の目的】
労働者の健康を自治体で管理し、働きすぎや感染症の蔓延を防ぐ。

【誰のための政策か】
千代田区で働く人、また日本で働く人たちすべて

【政策を実施する主体】

- ・ 国
- ・ 千代田区
- ・ 警察
- ・ 省庁
- ・ 千代田区に事務所を置く企業

【政策を実施する期間】
未来永劫

政策名 健康モニタリング

政策の詳細

【事業内容】 * 政策を実行するための具体的方法

STEP 1
政策実施範囲を、永田町、霞が関、丸の内などの特に住民の少なく日本の政治・ビジネスの中心である地域に限定し、これをモニタリングエリアと定め、モニタリングエリアの交通の要所や、事業所の入り口、エリア内外の境界に位置する道路にモニタリングカメラを設置する。

STEP 2
出退勤時刻を千代田区で一元管理し、労働時間の厳密な管理を行い、ブラックな労働環境をなくす。

STEP 3
体温、脈拍などをモニタリングカメラで計測、管理することで体調不良を検知する。
→本人のスマホに通知。同時に、近隣の医療施設も提示する。また、本人の意思で通勤してしまうことも可能なので、会社など出勤地にも通知し、従業員の安全を管理できるようにする。

STEP 4
人命に関わる緊急事態であるとモニタリングカメラが判断した場合 1 1 9 番に通報する。

STEP 5
度々体調不良が確認される会社は、長時間労働が横行している、オフィスの環境が悪いと判断され、千代田区から「社員の健康を守って欲しい」という指導が行く。

【政策にかかる費用】

- ・ 防犯カメラの映像を解析するシステムの導入費・維持費
10億
- ・ システムを管理するための人件費
500万円×10人=5,000万
計10億5000万円

【政策による影響への対策】
プライバシーの侵害
...駅やビルの入り口の防犯カメラを想定しており、居住地区やその内部などプライベートな空間に設置した防犯カメラについては、対象外とする。

重点政策②詳細

政策の概要

【政策の目的】
日本の政治・経済の中心として、テロ対策などの安全面を強化する。

【誰のための政策か】
千代田区で働く人、また日本で働く人たちすべて

【政策を実施する主体】

- ・ 国
- ・ 千代田区
- ・ 警察
- ・ 省庁
- ・ 千代田区に事業所を置く企業

【政策を実施する期間】
未来永劫

政策名 安全モニタリング

政策の詳細

【事業内容】 * 政策を実行するための具体的方法

STEP 1
重点政策①を参照

STEP 2 – 1
モニタリングカメラの生体認証システムを利用して、指名手配犯やテロリストなどの危険人物を、あらかじめ登録しておき、危険人物を検知。

STEP 2 – 2
重点政策①の健康モニタリングの技術を利用して、表情や脈拍、体温などから判断し、未登録の危険人物を検知。

STEP 3
危険人物を検知したモニタリングカメラは、自動的に現場の警備員のスマホに、危険人物の顔画像や、身長など身体の情報を送信。

STEP 4
現場の警備員が、迅速に取り押さえ、聴取へ向かう。

【政策にかかる費用】
重点政策①を参照

【政策による影響への対策】
重点政策①を参照

重点政策③詳細

政策名
スマイルモニタリング

政策の概要

【政策の目的】
労働者のストレスを軽減し、楽しく元気に働ける労働環境にする。

【誰のための政策か】
千代田区で働く人、また日本で働く人たちすべて

【政策を実施する主体】

- ・ 国
- ・ 千代田区
- ・ 警察
- ・ 省庁
- ・ 千代田区に事業所を置く企業

【政策を実施する期間】
未来永劫

政策の詳細

【事業内容】 * 政策を実行するための具体的方法

STEP 1
重点政策①を参照

STEP 2
企業、省庁などの入り口のモニタリングカメラで、労働者のスマイル度を計測する。

STEP 3
年間を通して、スマイル度の高かった企業は、スマイルカンパニーとして、国または自治体から表彰される。

STEP 4
企業が社員の笑顔づくりを進めるインセンティブに！

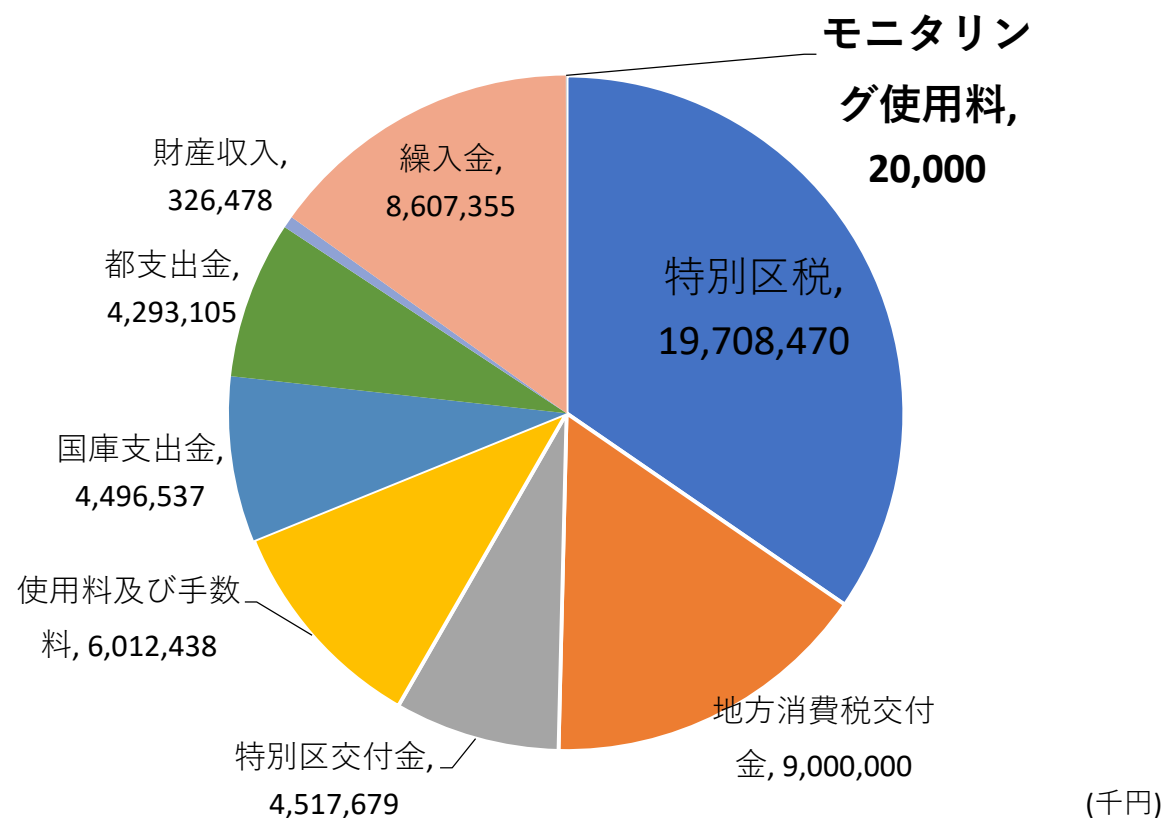
【政策にかかる費用】
重点政策①を参照

【政策による影響への対策】
重点政策①を参照

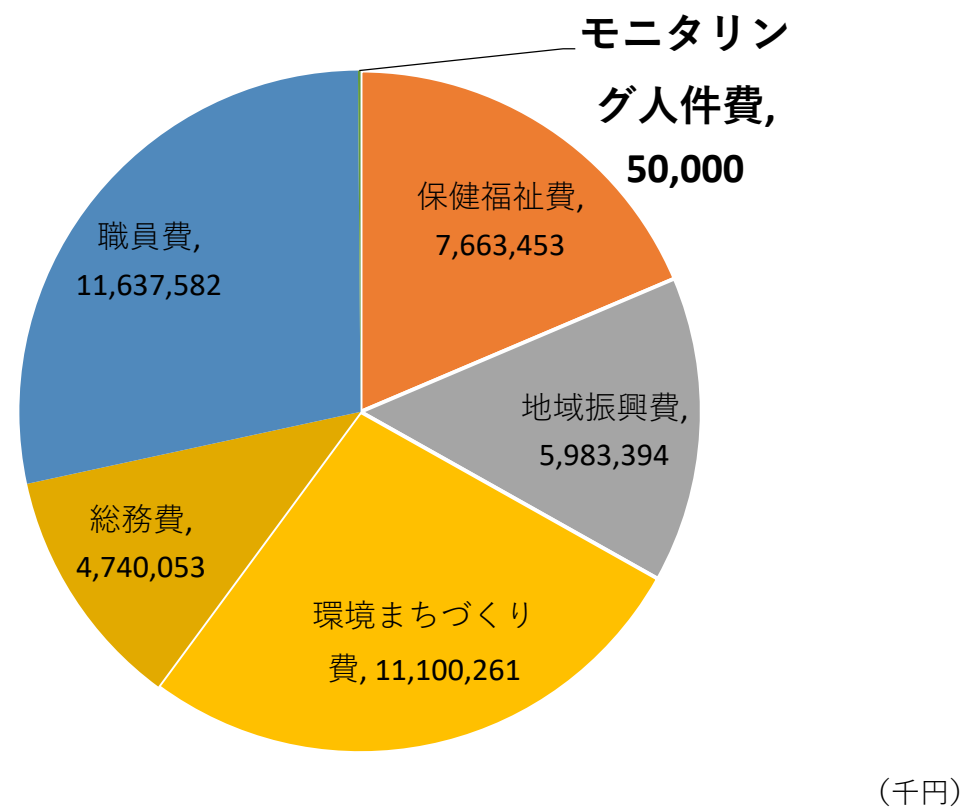
2029年の自治体予算

予算の算出の対策

歳入の部



歳出の部



【重点政策予算の捻出方法】

- ・ 警視庁などに防犯カメラの映像共有システムを依頼する。
(システム導入費及び維持費10億は国の負担)
- ・ 企業からシステム使用料2,000万円を徴収する。

【現在の自治体予算からの変更点とその理由】

- ・ 現在地域振興費のうち防犯カメラ設置補助に回っているお金44,397,000円のうち、30,000,000円をシステム管理のための人件費にあてる。
- ・ 防犯カメラが10年後には十分に普及しているという想定。

【予算面の変革に伴う対策】

- ・ 企業からは従業員数に応じて、システム料を徴収する。